



満開の桜に続き木々の芽が膨らみ、春の香りと希望に溢れる季節となりました。私は、平成30年4月に着任し、今年度で2年目になります金室 紀夫（かなむろ のりお）と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

本校は平成23年4月に開校し、今年度で9年目、来年度で10周年を迎える若い学校ですが、授業研究やキャリア教育、自立活動などにおいて、先進的な取組を研究・実践しています。また、地域と連携・協力し、地域貢献活動も行うなど、活気と愛情に溢れたエネルギッシュな学校です。

4月9日の入学式で、新たに小学部1年生12名、中学部1年生25名、高等部1年生34名の児童生徒を迎え入れました。学校全体では、小学部78名（19学級）、中学部70名（16学級）、高等部134名（20学級）、計282名（55学級）になります。1学年進級した子供たちは、新鮮な気持ちとこれからの学校生活への期待を胸に抱き、新年度を迎えていることと思います。

教職員は事務職員まで含めると総勢132名になり、とても大きな学校です。このたびの人事異動で、33名の教職員が退職または転出し、退職者のうち6名が本校継続となり、新たに28名が着任しました。「チームはばたき」の新たなメンバーとして、児童生徒の確かな成長を願い努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

さて、本校の教育目的は「**社会的自立・職業的自立を目指した児童生徒の資質・能力の育成**」にあります。最終的にこの目的を達成するために、全ての教育活動が行われています。そして、今年度の本校教育活動のキーワードとして、「**愛情**」と「**協力**」を掲げました。本校職員は、常に愛情をもって児童生徒を指導・支援するように心掛けています。また、「**チームはばたき**」として連携・協力し、様々な事柄に迅速に対応すると共に、引続き保護者・地域の皆様との協力体制を構築してまいります。

さらに、今年度の重点的な3つの取組として、「**1 授業力の向上**」「**2 センターの機能の充実**」「**3 働き方改革の推進**」を目指します。

1 授業力の向上

全ての教育活動の根幹は、日々の授業です。児童生徒の「興味・関心」「意欲」「主体性」「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」等を高められるように、組織的な授業研究を行い、教職員の授業力の向上を目指します。

2 センターの機能の充実

深谷市・熊谷市・寄居町と連携し、支援籍学習、就学相談、親子教室等を実施してまいります。

埼玉県立高校「通級指導」の研究モデル校である皆野高校において、本校教員が生徒を指導し、教員、保護者を支援します。また、高等部の生徒を中心に地域における清掃活動や頒布活動を実施し、地域貢献を目指します。

3 働き方改革の推進

教職員が笑顔で心に余裕をもって子供と接することができるように、健康第一で、効果的・効率的に仕事を行ってまいります。そして、学校の「強み」を再確認し更なる充実を図ると共に、行事内容の改善・削減等を行い、「働きやすい職場」「働きがいのある職場」を目指します。

特別支援教育がスタートして10年以上が経過しました。特別支援教育は、障害の有無にかかわらず、全ての子供たちのために必要なインクルーシブ教育システムへと発展してきています。共生社会の実現を目指す中で、本県特別支援教育の中核を担う本校が皆様の期待に応える教育力を発揮できるよう、教職員一同あらためて専門性と指導力の向上に努めてまいります。保護者や地域の皆様方と共に歩む特別支援学校として更なる充実・発展を目指してまいりますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。